

Mimosa Systems 社、業界でもっとも包括的なエンタプライズ・アーカイブ・ソリューションで、プロアクティブな eDiscovery 機能を拡大

新しい Mimosa Nearpoint ソリューション、eDiscovery を促進し、複数キャプチャ手法を追加し、エンドユーザにアーカイブ済コンテンツへのオフラインアクセスを提供

米国カリフォルニア州サンタクララ -- (MARKET WIRE) -- 2009 年 6 月 30 日 -- 次世代 e-メール、ファイル、SharePoint アーカイブソリューション大手の Mimosa Systems 社は、アーカイブ、eDiscovery、ビジネスユーザ生産性の包括的ソリューションの、基本バージョンの 4 つ目に当たる Mimosa NearPoint(TM) 4.0 を本日発表しました。巨大企業での実装で eDiscovery を促進する新機能や、複数データキャプチャ手法のサポートを含む NearPoint 4.0 はまた、すべてのコンテンツタイプの情報を、情報アーカイブにより動く個人生産性およびビジネス意思決定のための強力なプラットフォームに一元化するなど、今日のインフォメーションワーカー向けに多くの新機能を提供します。

「企業の情報アーカイブは、そのビジネスの生きて動く記録です。」と、IDC 社の Laura DuBois 氏は述べました。「正しいソリューションとプロセスを適切に実装・管理すれば、エンタプライズアーカイブは、情報化ビジネス分析のための企業の知的財産を最適化するための重要なビジネス生産性および意思決定プラットフォームになります。将来のインタリジェントなエンタプライズ・アーカイブ・プラットフォームの主要コンポーネントである eDiscovery およびエンタプライズビジネス生産性のために、多くの新機能を提供する Mimosa NearPoint 4.0 を、お客様はきっとご評価くださるでしょう。」

eDiscovery 促進

Mimosa NearPoint 4.0 は、弁護士の作業成果物を活用する先進的なケース管理およびワークフローツールにより、IT に保管された情報の識別・収集・保存の時間を短縮します。その結果、法務およびコンプライアンスチームは、ケース評価や法的戦略決定、アイテム単位の訴訟ホールドの設置、プレビューまたは社内監査の迅速な完了などで、効率的に協業できます。

「経済の悪化により、とくに従業員と株主関係の訴訟が増えました。企業は、訴訟を起こされる前に、あらかじめ対処計画を考慮しておくべきです。企業は、負債をできるだけ避け、訴訟が必要となったときのコストを軽減すべきです。デジタル証拠(ESI)は無形のもので、eDiscovery が訴訟コストを大きくしがちです。eDiscovery コンプライアンス要件では、ESI アーカイブを検索できるようにするために、完全な ESI データキャプチャ確保を求めがちです。」と、Cohen Mohr LLP のワシントン DC 法律事務所の William Savarino 氏は述べました。

「Mimosa NearPoint eDiscovery で提供されるようなツールによるケース管理と委任管理ツールを使用して、eDiscovery プロセスを社内で実施することにより、企業法務部門はコストと時間を節約できます。」

NearPoint 4.0 の主な eDiscovery 機能:

- e-メール、ファイルシステム、SharePoint コンテンツで一元化された eDiscovery。
- 複雑な検索クエリ、レビューリスト、訴訟ホールド、タグなどを、ケースやチーム間で体系化し共有するワークフローツール。
- IT からの検索とプレビューなど、取り扱い注意のワークロードを法務チームに委譲。
- きめの細かい認可により、地理的に離れた場所やドメイン間での、検索自動化とフェデレート。
- アーカイブに受け取った新しいコンテンツで、ケースを自動的にポピュレートするための、スケジュール化された検索。

「われわれは、アーカイブに必ず全コンテンツをキャプチャするようにしながら、eDiscovery 業務促進を続ける必要があります。」とリネкса市 CISO 兼上級ネットワーク管理者の Michael Lawrence 氏は述べました。「Mimosa NearPoint は、それぞれアイテム単位の法的ホールドや会話や近接分析を実施したいという、われわれのニーズをサポートしています。NearPoint のケース管理と管理委任により、ユーザは、自分の検索を実施して、取り扱い注意のコンテンツを法務にエスカレーションできます。われわれは長いこと Mimosa ユーザでしたし、この製品はずっと最先端を走ってきました。アーカイブとエンタプライズ eDiscovery では、今まで見つけたうちでもっとも強力なソリューションです。」

今日のエンタプライズ・インフォメーションワーカーのための先進情報アクセス

アーカイブされたデータの価値をさらに一歩高めるために、Mimosa NearPoint 4.0 では、e-メールやファイルシステム・コンテンツへの一元化されたオフライン情報アクセスを追加し、インフォメーションワーカーがアーカイブを検索・表示したり、関連コンテンツを見つけたり、タスクを進められるようにしました。New NearPoint 4.0 情報アクセス機能:

- 使い慣れた Outlook、Outlook Web Access (OWA)、ブラウザのユーザインターフェースで、表示された e-メールやファイルシステム・コンテンツへの、一元化されたアクセス。
- セキュアなキャッシュを通じたアーカイブ済みコンテンツへの先進的オフラインアクセス。
- Windows Desktop Search (WDS)への統合により、アクティブまたはアーカイブのコンテンツをひとつのビューで表示。
- 検索結果内で、検索した言葉をハイライト表示。

複数キャプチャ方式

Mimosa NearPoint 4.0 では、各種データソースからの複数キャプチャ方式のために、一般化されたフレームワークを提供しています。フレームワークは、構内やホストの e-メールのキャプチャのために、サーバ、デバイス、ネットワーク方式をサポートするように、設計されています。マイクロソフトの独自の Extensible Storage Engine (ESE)をベースにした Continuous Application Shadowing(TM)に加え、Mimosa NearPoint 4.0 では、Microsoft Exchange 向けに、幅広い種類の追加キャプチャ方式を追加しました。幅広い種類のお客様構成をサポートするように設計された NearPoint 4.0 では、複数キャプチャ方式によりリッチさと柔軟性が実現しますので、企業はインフラの活用ができます。NearPoint 4.0 の新しい複数キャプチャ方式:

- ログ・アプリケーション・プロセスを 10 倍速める Volume Shadow Copy Service (VSS)ベースの Continuous Application Shadowing(TM)。
- Exchange Journaling と組み合わせた Messaging Application Programming Interface (MAPI)オプション。お客様はこの構成を、Continuous Application Shadowing(TM)の代替として選択できます。シャドウレスアーカイブのために、企業がサードパーティ・ソフトウェアを使用できる Exchange 2007 Cluster Continuous Replication (CCR)パッシブ・ノード・キャプチャ。
- デバイススナップショット、バックアップコピー、Exchange Web Services (EWS)、Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)などを使って、将来新しいキャプチャ方式を追加できる拡張可能フレームワーク。

大規模エンタプライズ向け拡張機能

Mimosa NearPoint 4.0 には、圧縮、配布リスト変更分の保管、メッセージヘッダの圧縮、データドメインなどの重複デバイス除外のサポートなど、大企業での展

開向けに開発された多くの新機能があり、総合ストレージ要件を大幅に軽減します。NearPoint 4.0 はまた、仮想データセンタインフラへの統合のため、VMware や Hyper-V と一緒に使用することが認可されています。レガシアーカイブ製品から次世代アーカイブへの移行を考えていたり、エンタプライズアーカイブのあるアップストリーム eDiscovery またはレコード管理アプリケーションへの統合を考えている大企業向けに、NearPoint 4.0 ではまた、Open Mimosa Developer Program の一環として、拡張ソフトウェア開発ツールキット(SDK)を備えています。Procedo 社や TransVault 社などのベンダは、Mimosa 社とパートナーを組んで、第一世代アーカイブからの移行を促進する移行ツールを構築しています。Oracle、PSS、Kazeon など、その他の eDiscovery およびレコード管理ベンダは、SDK を活用して、元のコンテンツの移動やコピー不要で、レコード管理ポリシーや法的ホールドを正しく適用します。

Mimosa NearPoint について

Mimosa NearPoint は、アーカイブ、eDiscovery、規制遵守、事業継続、ストレージ最適化などに関連した重要なお客様要件に、一元化したソリューションで対応します。Mimosa Nearpoint は、e-メール、ファイル、SharePoint コンテンツ、インスタントメッセージをあらかじめキャプチャし、法務検索ワークフロー、ケース管理、従業員監督、粒度の粗いか細かい即時高忠実度回復、ディザスタリカバリ、セルフサービス検索、アクセスなどをひとつのソリューションで提供します。費用効果の高いストレージおよび先進的機密ルールを活用して、NearPoint はまたコンテンツストレージを最適化し、インフラ全般コストを削減します。

Mimosa 社について

Mimosa Systems は、情報の即時性、情報開示、持続性のための、次世代エンタプライズ e-メール、ファイル、SharePoint アーカイブソリューションを提供しています。Mimosa Nearpoint は、e-メール、ファイル、コラボレーションシステム、インスタントメッセージなどの、業界でもっとも包括的な非構造化情報管理ソフトウェアソリューションで、アーカイブ、eDiscovery、ストレージ統合、回復などを一元化されたソリューションで可能にします。Mimosa 社は、マイクロソフトゴールド認定パートナーで、ネットワークインフラ・ソリューション、ISV/ソフトウェアソリューション、先進的インフラソリューションなどでの競争力で認められています。Mimosa 社は、2003 年に設立され、米国カリフォルニア州サンタクララに本社を置き、カナダ、フランス、ドイツ、英国、日本、中国、オーストラリア、インドに事業所があります。詳しくは <http://www.mimosasystems.com> をご覧ください。

Mimosa・Mimosa Systems・Mimosa NearPoint は Mimosa Systems の商標です。ここで使用された他のすべての製品名と会社名は、登録オーナーの商標である場合があります。

メディア問い合わせ先:

Sabrina Sanchez

Ventana Public Relations

(925) 999-9985

sabrina.sanchez@ventanapr.com